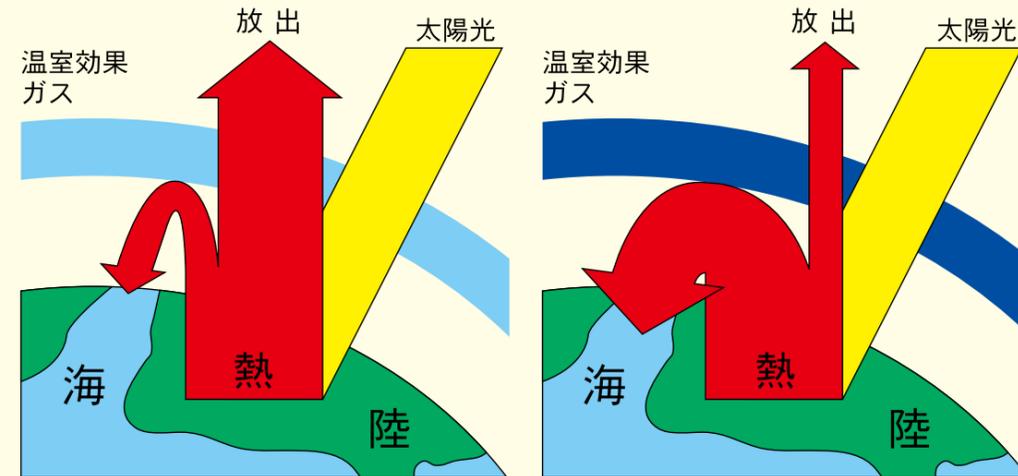


温室効果ガスが増加すると地球の平均気温が暖められます。

温室効果ガスが地球の平均気温を適温に保っている状態



平均気温が1度上昇するだけで気候や健康などに影響を及ぼすと言われています。地球温暖化の原因は様々ですが、そのひとつに家庭から排出されている温室効果ガスが含まれています。次世代の子どもたちが安心して暮らせる地球環境を残すためにも家庭でできる地球温暖化対策をみんなで始めてみましょう。

地球温暖化とは

海面が上昇したり、氷河が溶けたりと、「多くの自然環境が既に地球温暖化の影響を受けている」という言葉を最近よく耳にすると思いますが、「地球温暖化って何?」と思う人もいるのではないのでしょうか。地球を包んでいる大気中には二酸化炭素(CO₂)やメタンなどの温室効果ガスと呼ばれるガスが含まれています。このガスは、図①のとおり熱を吸収して地

球の平均気温を人間や動植物などが生活しやすい気温に保つ働きをしています。近年、大気中の二酸化炭素の濃度が増え続けたことで、地球が暖められました。この現象を「地球温暖化」と言います。

地球温暖化の原因は

地球温暖化が進行している一番の原因は、私たちの便利で快適な生活や大量生産・大量消費の社会・経済システムが深く関わっています。この人為的な温室効果ガスの影響で排出と吸収のバランスが崩れ、ここ100年で1℃上昇した日本の平均気温が、2,100年には4℃~5℃上昇すると予想されています。このまま地球温暖化が進むと日本では集中豪雨や台風発生数の増加、生態系の変化、食物分布の変化、マラリアなど感染症の流行などの恐れがあります。

さらには、食糧の約60%を輸入に頼っている日本では、深刻な食糧難に直面することが危惧されています。

私たちにできること

近年、排出量を増やしている家庭からの温室効果ガス排出量を減らすには、今の日常生活を見直す必要があります。図②に紹介している家庭でできる省エネの取り組みを実践することは排出量の削減はもちろんですが、経済的な節約にもつながります。ただし、排出量を確実に減らすには、継続した取り組みが大事です。

まずは、できることから始めてください。一人ひとりの効果は小さくても、みんなが取り組むことで大きな効果があります。ぜひ、皆さんの意識を行動に変え、次世代の子どもたちに住みやすい地球環境を残していきましょう。なお、生活環境課では、環境についての出前講座を行っています。ぜひ、ご利用ください。

【問い合わせ】
市生活環境課
0994311115

環境家計簿をつけてみよう!

環境家計簿は、家庭での電気、ガス、水道の使用量や日常の行動などをチェックすることで、一人ひとりが環境にやさしくらしを実践することを目的としています。

環境にやさしくらしを実践することは、地球温暖化の最大の原因である二酸化炭素の排出量を削減します。

なお、家計簿は市ホームページからダウンロードできますので、ぜひ、ご利用ください。



環境家計簿アドレス

<http://www.e-kanoya.net/htmlbox/kankyou/kakeibo.html>

図②

取り組もう! 家庭でできる省エネ

シャワーを1日1分家族全員が減らしましょう。

また、身体を洗っている間、お湯を出しっぱなしにしないようにしましょう。

- ・年間約 65kg の CO₂ の削減
- ・年間で約 4,000 円の節約



ポットやジャーの保温は利用時間が長いため、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温めなおす方が電力の消費は少なくなります。

- ・年間約 31kg の CO₂ の削減
- ・年間で約 2,000 円の節約



1日1時間テレビを見る時間を減らすために、見たい番組だけ選んでみるようにしましょう。

- ・年間約 13kg の CO₂ の削減
- ・年間で約 1,000 円の節約



冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低くしましょう。

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、着る物を工夫すると冷暖房機に頼らないで過ごせます。

- ・年間約 31kg の CO₂ の削減
- ・年間で約 2,000 円の節約



年間の電力消費量の約7%を占める待機電力を削減するため、主電源を切ったり、長期間使わないときはコンセントを抜きましょう。また、買い換えの際には待機電力の少ない物を選びましょう。

- ・年間約 87kg の CO₂ の削減
- ・年間で約 6,000 円の節約



一部屋で家族が団らんすることで、暖房と照明の利用を2割減らせます。

- ・年間約 240kg の CO₂ の削減
- ・年間で約 11,000 円の節約



地球温暖化が進行すると 出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

氷河の溶解
ヒマラヤ(東ネパール)の氷河が溶けている様子です。



(2004.8.21, 名古屋大学環境学研究所・雪氷圏変動研究室)

感染症の増加
シナハマダラカによって媒介される3日熱マラリアは、熱帯地域を中心に毎年1億人以上が感染し、100万人以上が亡くなっています。



(2005.7.28, 国立感染症研究所昆虫医科学部)

ハリケーンの大規模化
ホンジュラス、カリブ海沿岸の町トルヒーヨを直撃した大型ハリケーン「ミッチ」。温暖化が進むと熱帯低気圧の威力が強まると言われています。



(1998.10, AYUCA)

砂漠化の進行
電信柱の下半分が砂で埋まっています。(中国、内モンゴル自治区、ホルチン沙漠)



(1996.5, Yu Nakamura)

海面の上昇
南太平洋のエリス諸島に位置する島国「ツバル」は、海面上昇により水没すると言われています。



(2002.6.20, Shuichi Endou (Tuvalu overview))

海水温の上昇
海水温の上昇により死滅し白化した沖縄県慶良間列島阿嘉島のサンゴ礁です。



(1998, 阿嘉島臨海研究所)